



アジア・アフリカの 母子保健の改善を考えよう

How can we improve maternal child health in Asia and Africa?



日時：2015年7月20日(月) 13:00~14:00

場所：パシフィコ横浜 第3会場 (313+314)

ICM アジア太平洋地域会議・学術集会 自由集会

対象：大学生、院生、教員、医療者、その他国際保健に興味のある方

費用：無料 (ICM アジア太平洋地域会議・学術集会に参加する場合は、参加費がかかります。)

<スピーカー>

- 新福洋子 (聖路加国際大学 ウィメンズヘルス・助産学)
- Yenita Agus (インドネシア 国立イスラム大学 母性看護学教員)
- Beatrice Mwilike (聖路加国際大学 博士課程、
タンザニア ムヒンビリ健康科学大学 助産学教員)
- 宍戸恵理 (聖路加国際大学 修士課程)
- 多田恭子 (聖路加国際大学 修士課程 JICA 連携プログラム)

<世話人>

- 下田佳奈 (聖路加国際大学 博士課程)
- 櫻井佐知子 (聖路加産科クリニック)
- 長松康子 (聖路加国際大学 国際看護学)
- 堀内成子 (聖路加産科クリニック)



アジア・アフリカの
母子保健の現状と改善を
現地助産教員、国際保健
研究者と共に語り合う

研究拠点形成事業
Core-to-Core Program

問い合わせ：アジア・アフリカ助産研究センター asia-africa@slcn.ac.jp

